

## 当院の救急当番日(外科)



5月 … 1, 8, 11, 12, 15, 22, 25, 26, 29  
6月 … 5, 8, 9, 12, 17, 19, 22, 23, 26  
7月 … 3, 8, 10, 13, 14, 17, 24, 27, 28, 31

## 健康急便

2019

春号

(第51号)

新しく常勤医となった  
医師の紹介 … P2

最近の出来事  
新人歓迎会を開催して … P3

バトンタッチ … P4

外来診療体制 … P4

あとがき … P4

医療法人社団 藤花会  
江別谷藤病院  
理念

- 一. 私たちは医療を通して、快適な毎日の生活をサポートします。
- 二. プロとして、成長し続けるために努力、勉強に努めます。

## ◆新しく常勤医となった医師の紹介

### 整形外科 大本浩史 医師

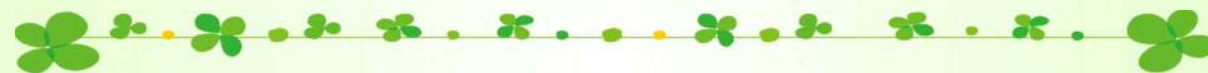
平成31年4月より整形外科医として勤務させていただいております大本浩史(おおもとひろふみ)と申します。

平成7年度に卒業後、近年では釧路に5年、苫小牧に4年、函館に8年勤めてこの江別に参りました。(ちなみに平成9年度に1年間江別市立病院にお世話になりました)

整形外科の中では主に下肢疾患の治療が中心で、変形性関節症に対する手術や高齢者の大腿骨近位部骨折に対する手術、また一般の下腿骨骨折などに対する手術を行ってきました。

谷藤病院へは約10年前より年間数件の手術のお手伝いに来ておりましたが、この度常勤医として働く機会に恵まれました。

メスを入れない治療にも力を入れており、丁寧な説明と的確な治療を心がけて参りたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。



### 麻酔科 中明結花 医師

4月から入職いたしました、麻酔科医の中明(なかめい)と申します。札幌生まれ札幌育ちの生粋の道産子です。北大を卒業後、沖縄や東京に住んだこともありますが、人生の大半は道内で過ごしてきました。

今でこそ時折ドラマなどで手術室の光景を目にする機会がありますが、それでも麻酔科医は一体何をしているのだろうとお思いの方も多いと思います。簡単に言えば、手術という舞台の上での黒子のようなものだと思っております。自身は決して目立ちたくないものの、手術を円滑に進めるためには必須。特にリスクの高い方、大手術の場合などは尚更です。手術の時、さまざまなストレスから皆様をお守りしている人、そんな風に捉えて頂ければと思います。

現在札幌市内から車通勤しています。片道20km、結構な距離です。初めのうちは長く感じられましたが、慣れてくると、音楽を聴いたり考え事をしたり、逆に何も考えずに無になったりと、貴重な時間になりつつあります。

元号も令和に変わり、これから江別ひいては谷藤病院とのご縁を大切に目の前の患者さま一人ひとりに関わり、地域のお役に立てるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。